

新たなカリキュラムで授業を行っています

今年の夏は6月から8月まで連日の記録的な猛暑が続きましたが、生徒たちは元気に授業に取り組みました。

今年で開校4年目を迎える本学院では、社会情勢の変化等を踏まえつつ、より実践的かつ生徒の進路に合った教育が可能となるよう、毎年、カリキュラムの所要の見直しを行っており、第1学年で林業現場に適した身体の使い方を学ぶ「コンディショニング」、第2学年で実習地において実際に機械に搭乗し森林作業道の作設を行う「森林路網3」などの科目を新たに創設したほか、第2学年において従来の「木育」を木育マイスター資格が取得できる「資格E」に改変し、さらに第2学年の「総合選択実習」に「経営者育成コース」などのコースを新たに追加しました。

これらの新科目も含め、生徒たちの頑張りと、各地域支援協議会や林業事業体の皆様のご協力により順調に授業日程をこなしています。もちろん、各種資格の取得も順調に進んでいます。地域見学実習やインターンシップなどにご協力をいただいた皆様には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

今後とも教職員一同、生徒の指導に努力してまいりますので、引き続き、学院運営にご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



〔1年生 コンディショニング〕



〔2年生 森林路網3〕



〔2年生 資格E(木育マイスター研修)〕



〔2年生 総合選択実習(経営者育成)〕

2年生の就活模様

2年生は、9月1日に長期インターンシップを終え、本格的に就職活動をスタートしました。生徒達は、長期インターンシップに行った企業を比較したり、求人票の中から気になる企業に作業の見学や話を聞きに行くなどして、就職先を探しています。

令和5年11月末日現在、求人数は247人で前年の5割程度増しとなっていますが、内定しているのは、就職を希望する生徒の4割程度と、昨年度より就職内定率は低い状況となっています。

年内には、検討を終え、就職先を決めていく生徒が大半となりますので、毎月、前月末日時点の情報を公表している学院ホームページの採用内定速報にて、状況をご確認いただければと思います。

生徒全員の就職活動が終わるまで、学院では支援を続けていきます。

第4期生の声

4月の入学から半年が経った1年生に、旭川市での新生活や学校生活の感想、今後の目標などを聞きました。

笹谷 啓皓さん

半年間の中で、短期インターンシップが一番印象に残っています。学院で学んだ事を活かすことができ、就業先のイメージを掴むことができました。

将来の目標は、チェーンソーを扱う業務に就くこと！授業で苦手を克服するよう取り組みます。



鈴木 颯さん

入学前は、林業について何も知りませんでした。

体を使う仕事がしたいと思い、入学しましたが、資格取得や実習が楽しくて、就業後もがんばって行けそうです！

学院生活では友人にも恵まれて、とても充実しています。



植田 祐未さん

愛知県から旭川市に来て、感じたことは、山や自然にあふれて、環境がとても良いこと。

元々、木が好きで、授業では樹木学がお気に入りです。

製材業、種苗業そしてオペレーター職など、様々な業種を経験し、自分に合った就業先を探しています。



盛永 誠哉さん

林業に憧れていました！伐倒したときの音や上手く伐れたときの快感がとても好きです。

将来の夢は、北海道の森林を未来に残すことです。

林業に就き、地元の人たちに感謝される林業マンになれるよう、実習や自己学習に励んでいます！



第3回日本伐木チャンピオンシップin鳥取に出場



〔学院の出場選手〕



〔伐倒競技（簡易伐倒）〕



〔枝払い競技〕

鳥取県で10月28・29日に開催された「第3回 日本伐木チャンピオンシップin鳥取」に学院から6名の選手が出場しました。学生対抗の2人ペアで行うアカデミー・ジュニアクラスに生徒4名、大会初参加選手が出場可能なビギナークラスと、過去に参加経験のある選手が出場可能なプロフェッショナルクラスにそれぞれ教員1名が挑みました。

大会は伐倒※や枝払い※など実際の山でのチェーンソー作業を模した競技を行ってチェーンソー技術を競いますが、規定の防護性能がある装備を身に付けることや、刃が空中で動いているときに足を動かすとペナルティがあるなど安全作業も意識したルールとなっています。選手たちは、競技で意識すべき安全作業やチェーンソー技術をより身に付けるために平日の朝や放課後、休日を返上して練習を重ねて大会へ臨みました。

結果は、アカデミー・ジュニアクラスに出場した生徒のうち2名が5位、ビギナークラスに出場した教員が2位に入るなど大健闘でした。日頃の練習の成果を本番でも発揮できた選手や緊張の中で競技が思うようにできなかった選手など、それぞれいたかと思いますが、全国から集まった選手たちとの交流もでき、今後の学院生活や就職に向けて貴重な経験を積むことができました。



〔全国2位の駒田先生〕

※伐倒
…立ち木を伐り倒すこと
※枝払い
…伐採した樹木から枝を切り落とすこと

北森祭は大雪の中、開催されました

第2回北森祭（学院祭）を、11月25日に開催しました。北森祭は、企画、準備、予算管理、当日の司会進行など北森会（生徒会）が中心となり運営しました。

生徒たちは、1・2年生及び教職員の合同6チームに分かれ、林業学校ならではの「〇×クイズ」や「腕相撲対決」などで優勝を競いました。日頃の勉強の成果が試される「樹木学王決定戦」では、教員も参加する中、なんと1年生が樹木学王に輝きました。

この日は大雪で、お昼には30cmほどの雪が降り続ける中、食事担当の生徒たちは、寒さに耐え、焼き鳥や焼きソバを作ってくれました。

午後からは、一発芸、バンド、ダンスなど芸能人顔負けの質の高い「ステージパフォーマンス」が行われました。

また、当日は全道各地に就職している卒業生が駆けつけ、後輩や教職員と交流することができました。

今後も、北森祭を通じて、在校生同士はもちろん、卒業生との関わりも深め、学院を通じた繋がりを大切にしていきたいと思います。



〔腕相撲対決〕



〔OBとの交流〕

「ほくでん 北森カレッジ 共創の森」植樹活動

北海道電力(株)と学院が連携して森林づくりに取り組んでいる「ほくでん 北森カレッジ 共創の森」植樹活動が9月28日当別町において実施されました。ほくでんグループからは北海道電力(株)の瀬尾副社長はじめグループ会社の皆様、学院からは1年生、あわせて約100名が参加し、オヒョウやミズナラなど約1,400本の苗木を植えました。

午後からは、環境に関する取組や学校生活など、北海道電力(株)と学院、お互いの取組をプレゼン発表し、意見交換では「将来の夢」の話題になるなど、大いに盛りあがりました。



〔集合写真〕



〔植樹の様子〕



〔勉強会の様子〕

支援協議会から給付金が贈呈されました

北海道林業・木材産業人材育成支援協議会（有末道弘会長）の巻口代表幹事が9月11日に来校され、インターンシップなどに伴う交通費や宿泊費などに活用するため、総額449万2,000円の給付金が贈呈されました。

贈呈式では、巻口代表幹事から生徒に対し「市町村や林業・木材産業などから1千万円近い賛助金をいただいており、これも全道各地からの期待の表れだと思う。インターンシップや実習などを通じて、全道各地の林業・木材産業に触れてほしい。」と激励の言葉をいただきました。生徒代表の1年生佐藤孝亮さんは「2年生の先輩たちが、3回目のインターンシップを無事終えた。振り返りの授業など、林業・木材産業へ就業する準備を進めている姿を目の当たりにし、私達、1年生も身が引き締まる思い。」と応じました。



〔右は佐藤孝亮さん〕

北森カレッジ開放の取り組み

実習で生じた「薪・丸太」の無料配布

総合選択実習の地域活性化コースでは、生徒7名が職員とともに「ゼロカーボン北森カレッジ」宣言の実現に取り組む「アクション・チーム」を結成し、10月30日に実習で生じた使用済みの薪や丸太を地域の方々に無料で配布しました。

当日は市内外から53組ものの方々が訪れ、地域住民と生徒が触れあいながら、学院を多くの方々に知っていただくとともに、森林や木材の利用がカーボンニュートラルに貢献することの理解を深めていただくきっかけづくりとなりました。

〔当日の様子〕



「ゼロカーボン北森カレッジ」宣言 (2023.4.6策定)

学院では、「ゼロカーボン北海道」の実現に積極的に貢献するため、二酸化炭素を吸収・固定する本道の森林を守り育てる人材の育成に取り組むとともに、地球温暖化対策に向けて4つのテーマを掲げ、学院の教育活動全般を通じて、生徒と職員が一体となって取り組むことを宣言しています。

人材育成

教育活動

施設整備

情報発信

公開講座を開催

学院では、今年度より地域の皆様への学びの場の提供などを目的とした公開講座を開催しています。

今年度最終回となった10月26日の講座では、コロナ禍などで激変した木材産業について、筑波大学の立花准教授や昭和木材(株)の高橋会長など各分野の専門家から最新情報等のご報告をいただき、生徒をはじめ会場やオンライン参加で100名以上が聴講しました。

〔公開講座の様子〕



北森カレッジ第5期生募集のお知らせ

学院では、令和6年度の入学者を広く道内外から募集するため、令和6年2月18日に第2回一般入学試験を実施します。

募集定員の確保に向け、引き続き、各地の高校などで出張学院PRや学院説明会を実施します。

また、今年度から、社会人経験が5年以上の方を対象とし、選考はオンラインでの面接のみとした、社会人選考を導入しました。

転職を検討されている方や、本道の林業・木材産業に興味のある方、学院に興味のある方に、情報提供いただけると幸いです。

募集要項の詳細はホームページをご確認ください。



北森カレッジ

検索

詳しくはホームページをご確認ください

試験区分		会場	試験内容	日程	募集人員
一般入学試験	一般選考	旭川・札幌	面接 小論文	出願期間：令和6年1月4日(木)～2月7日(水) 実施日：令和6年2月18日(日) 合格発表：令和6年2月28日(水)	若干名
	NEW! 社会人選考	オンライン	面接		

■編集後記■

先日の学院祭では、事前準備や運営に携わったみなさんお疲れさまでした。また、吹雪で寒い中、足を運んでくれた卒業生のみなさん、ありがとうございます。編集担当は昨年続き、大変微かながら屋外で焼き鳥を焼かせていただきました。焼き手の特権、焼きたては美味かったです。

反省です。ステージパフォーマンスとある仮装したコンピカ仕場。直感的に何らかのキャラに扮していることは理解。生徒は大喜びでしたが、編集担当、元ネタがわからず、つくづく世間知らずであることを痛感。もう少しワカモノ文化に触れ、生徒募集に繋げていかなくてはと思いました。

「OGARU」とは北海道の方言で「成長する」「大きくなる」という意味の言葉「おがる」です。北森カレッジの生徒や、北海道の森林が大きく成長する願いを込めています。

■生徒の様子ははこちらから■



発行

〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号
北海道立北の森づくり専門学院 教務課
Tel(直通)：0166-75-6163 Fax：0166-75-6160